

第2期 ESG/SDGs 対応フォーラム (笹谷塾)

～事業会社の立場からESG対応を理解する～
～SDGs活用で共有価値創造とサステナビリティ経営～

開催主旨

●「持続可能性」新時代の共通言語：SDGs

激しいグローバル的变化の中、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(統治)の3要素がESG投資をはじめ、取引先、消費者などの関係者からの注目が高まっています。企業はこの3要素に的確に対処する必要があります。これまでのCSR(企業の社会的責任)を強化し、2015年に国連で策定された2030年を目標とする「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」を「持続可能性の共通言語」として使いこなし、ビジネスチャンスとリスク管理両面で活用すれば共有価値創造(CSV)戦略になります。

●SDGsトッパーナーから学ぶ

昨年暮れに第1回「ジャパンSDGsアワード」が政府より発表されました(伊藤園も特別賞を受賞)。今年はSDGsが本格的に活用される「実装元年」になります。また、東京五輪でも調達などでSDGsが参照され、地方創生でもSDGs未来都市が選定されました。以上を踏まえ、ESG時代におけるSDGs活用の新たな共有価値創造戦略を示します。

●これならわかる、サステナビリティ経営の理論と実践

今や、ESG/SDGsを組み込んだ、サステナビリティ経営を行うかどうか企業が企業価値(企業ブランディング)を左右します。そして企業のインナーブランディング(社員のマチベーション向上)にも直結します。

そこで、①CSRの見直しと強化、②SDGsの活用とESGへの対応、③共有価値創造CSVの実践、④統合報告書での発信のための理論と実践をわかりやすく示します。

グループ討議・事例発表のほか、先進事例見学会も設けます。CSR、IR、広報、ブランディング、経営企画など幅広い業務の責任者・実務家、そして経営層も対象とします。部署横断的な課題も多いので、部署間リレーでの参加も歓迎します。

開催期間▶2018年10月16日(火)～2019年5月14日(火)(全9回)

会場▶アイビーホール(東京・表参道)

●塾長●

(株)伊藤園 顧問 笹谷 秀光 氏(ささや ひでみつ)

CSR/SDGコンサルタント
日本経営倫理学会理事、グローバルビジネス学会理事

【略歴】

東京大学法学部卒業。

1977年農林省(現農林水産)入省。外務省出向(1987-1990年在米国日本大使館一等書記官)。農林水産省にて、中山間地域活性化対策、食品流通対策、国際経済交渉等を担当。2005年環境省大臣官房審議官、2006年農林水産省大臣官房審議官、2007年関東森林管理局長を経て、2008年退官。同年伊藤園入社、経営企画部長等を経て2010年—2014年取締役。2014年—2018年4月常務執行役員CSR推進部長。2018年5月より現職。サステナビリティ日本フォーラム理事、日本経営倫理学会理事、グローバルビジネス学会理事、学校法人千葉学園評議員、宮崎県小林市「こばやしPR大使」、通訳案内士資格保有(仏語・英語)

【著書】

「協創力が稼ぐ時代」(ウイズワークス株式会社 Nanaブックス・2015年10月刊) / 「CSR新時代の競争戦略-ISO26000活用術」(日本評論社・2013年12月刊) / 環境新聞ブックレットシリーズ14「経営に生かすSDGs講座」(環境新聞社・2018年4月刊)



①
10/16
火

【基本シリーズ】 経営環境の激変 ～CSR再考とESG(環境・社会・統治)～

1. 企業を取り巻く激動の世界潮流 —サステナビリティ新時代とESG時代の到来—
2. CSRの変遷—本業CSRとCSVの併用へ
3. グローバル・コンパクトやISO26000によるCSR体系
4. ESG対応とは

②
11/13
火

＜ゲスト＞ ゴールドマン・サックス証券 社会対応力の強化 ～ESGとCSR～

1. ESG(環境・社会・統治)とCSR
2. G(コーポレートガバナンス)
3. ESG投資の現状と将来予測
4. CSR体系を生かしたESG対応

③
12/4
火

＜ゲスト＞ 住友化学 持続可能性の共通言語の活用 ～ESGとSDGs～

1. SDGsとは何か
2. SDGsの活用 —ビジネスチャンスとリスク回避—
3. ESG とSDGs
4. SDGsの活用事例 —ジャパンSDGsアワード受賞企業の分析—

④
2019年
1/15
火

【応用シリーズ】 統合報告書の作り方 ～国際ルールとESG投資の動きを踏まえる～

1. さまざまな国際ルールや考え方の整理
2. 財務情報と非財務情報
3. ESG投資への対応と統合報告書
4. 参加企業の統合報告書・各種レポートの分析



⑤
2/12
火

セイコーエプソン／エプソン販売見学会 共有価値の創造 ～Society5.0とCSV～

1. CSV (共通価値の創造) —経済価値と社会・環境価値の同時実現～
2. 価値創造とESG
3. 企業の事例(日本・世界)、フォーチュン誌「世界を変える企業50選(2016)」
4. 参加企業の事例発表

⑥
3/12
火

関係者連携の手法 ～五輪・パラリンピックや地方創生を例に～

1. SDGsと五輪・パラリンピック
2. SDGs未来都市とは
3. 新たな地方創生ビジネス

⑦
4/9
火

【価値創造実践シリーズ】 NECネットエスアイ見学会 チャンスとリスクマネジメント ～働き方改革・次世代育成など～

1. 働き方改革とCSR/CSV/SDGs
2. 次世代育成・女性活躍とESG
3. 新たな課題への対応とリスクマネジメント

⑧
5/14
火

「発信型三方よし」 ～サステナブル・ブランドとESG発信～

1. サステナブル・ブランドの構築
2. 「発信型三方よし」 —日本型CSVとしてわかりやすく説明
3. パブリックリレーションズとCSR/ESGコミュニケーション

⑨
6/11
火

サステナビリティ・マネジメント ～企業価値の向上と社内浸透～ ～まとめ～

1. サステナビリティ・マネジメント —CSR/CSV/SDGs/ESGの統合化—
2. 価値創造の戦略とストーリー
3. 社内浸透
4. コーポレートブランドの確立で企業価値の向上



◆ 開催要項 ◆

【期 間】2018年10月～2019年6月(全9回)

【日 時】原則として毎月1回 14:00～17:00

第1回 10/16 (火)	第2回 11/13 (火)	第3回 12/4 (火)	第4回 1/15 (火)	第5回 2/12 (火)	第6回 3/12 (火)	第7回 4/9 (火)	第8回 5/14 (火)	第9回 6/11 (火)
---------------------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	--------------------

▶ 14:00～15:30 1. 笹谷氏の今月のトピックスと講義 (2回目以降は前回のまとめを入れます)	▶ 15:40～16:30 2. グループ討議 (グループ討議では、討議の進め方・ファシリテーションも重視し、節目の回では事例発表も行うなど、実践を通じて学びます。塾長からブレゼンの仕方も学びます。)	▶ 16:30～17:00 3. 総括
------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------

◆ 参加要領・申込書 ◆

FAX:03-5215-0951~2

★法人会員企業は下記当会 HP でご確認戴けます。

★分割支払い、代理参加等可能です。お気軽にご相談下さい。通信費・資料代・飲食費等の一切を含みます。

《年間参加費》 正会員：248,400円(本体価格：230,000円)

一 般：280,800円(本体価格：260,000円)

《一日参加費》 正会員：34,560円(本体価格：32,000円)× 回(受講希望日)

一 般：37,800円(本体価格：35,000円)× 回(受講希望日)

【申込方法】下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。請求書をお送りいたします。

【申 込 先】一般社団法人 企業研究会 村野 E-mail: murano@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR麹町ビル(旧 麹町 M-SQUARE) 2F

TEL: 03-5215-3512 FAX: 03-5215-0951~2 URL: https://www.bri.or.jp

第2期 ESG/SDGs 対応フォーラム（笹谷塾） 申込書

会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申込みます。

申込日：__月__日

180331		2018.10～2019.6	
会社名			
会社住所	〒		
①氏名 (フリガナ)	TEL		
	FAX		
部課・役職	E-mail		
②氏名 (フリガナ)	TEL		
	FAX		
部課・役職	E-mail		
備考			

※申込書にご記入頂きました個人情報は、本コースに関する確認・連絡及び弊社主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。